

日本大学大学院

文学研究科心理学専攻

心理科学コース

Psychological Science Course

Department of Psychology

Graduate School of Literature and Social Sciences

Nihon University



# 1世紀におよぶ歴史とともに

## 日本大学心理学研究室のあゆみ

- 1914(大正3) ・日本大学部文理学部心理学科の基礎を築いた渡辺徹が、講師として日本大学で「心理学」の講義を開講
- 1924(大正13) ・私立大学で最初となる日本大学法文学部文文学科心理学専攻設置
- 1927(昭和2) ・心理学研究室を神田三崎町に開設
- 1928(昭和3) ・日本大学心理学会第1回開催
- 1949(昭和24) ・新学制により文理学部心理学科に改組
- 1951(昭和26) ・大学院文学研究科心理学専攻修士課程を設置
- 1953(昭和28) ・大学院文学研究科心理学専攻博士課程を設置
- 1958(昭和33) ・文理学部心理学科に改称
- 1967(昭和42) ・旧本館5階心理学研究室に移転
- 1985(昭和60) ・日本心理学会第29回大会主催校
- 1992(平成4) ・日本心理臨床学会第11回大会主催校
- 1994(平成6) ・日本心理学会第58回大会主催校
- 1999(平成11) ・日本大学心理学教室創設75周年記念式典
- 2001(平成13) ・日本心理臨床学会第20回大会主催校
- 2002(平成14) ・文理学部心理臨床センター開設
- ・大学院が心理科学コース・臨床心理学コースの2コース制となる
- ・日本臨床心理士資格認定協会第2種指定校に臨床心理学コースが指定される
- 2011(平成23) ・日本心理学会第75回大会主催校
- ・日本臨床心理士資格認定協会第1種指定校に臨床心理学コースが指定される
- 2014(平成26) ・心理学科創設90周年
- ・教科書「心理学概説」発刊
- 2017(平成29) ・現本館3階心理学研究室に移転
- 2019(平成31) ・心理科学コース公認心理師プログラム開始
- 2024(令和6) ・心理学科創設100周年



日本大学文理学部  
心理学科の創設者  
渡辺 徹先生

## 教育方針と求める学生像

日本大学大学院文学研究科の心理学専攻では、今後更なる発展が予想される心理学の諸領域、あるいは関連領域において求められる高度な学識と技能を有することで、学問の進展に寄与し、専門的職業に従事する人材を育成することを教育目的とします。本専攻ではこの目的のもと、心理学を創造的に社会へ還元することの意欲と適性を有する次のような学生の入学を希望します。

### [博士前期課程]心理科学コース

心理学の専門家として学問の進展に寄与するために基礎学力を有しつつ、専門・分化した心理学の知識の全体を俯瞰しながら、自主的に研究する意欲的な学生を迎え入れます。

### [博士後期課程]

心理学領域及び関連領域において国際的かつ研究指向性を有し、研究・教育あるいは高度に専門的な業務に従事して斯界の発展に貢献しようとする学生を迎え入れます。

多様な  
アプローチに  
対応できる  
研究設備

コンピュータを用いた研究だけでなく、眼球運動や脳波測定、ポリグラフなどの設備も備え、さまざまなアプローチに対応しています。



## 心理学専攻博士前期課程 心理科学コースの特徴

### 1 研究の実践力の獲得

- 認知心理学、生理心理学、社会心理学、環境心理学、健康心理学、発達心理学等について、基礎から応用まで多様なテーマについて研究指導を行っています。
- 高度な心理学研究法を習得し、現実的な問題解決力を養います。
- 29室の実験・面接室を有し、充実した研究設備を実現しています。
- 学術論文の所蔵数も多く、院生が気軽に必要な文献を手に入れることができます。

### 2 専門的知識の獲得

- 専門的知識の獲得を目指して、本専攻は多彩な講義科目を開講しています。
- 講義は、専任教員を含め、さまざまな領域で活躍している多くの研究者が担当し、最先端の知識に触れることができます。
- 大学院特別講義として、年に2回、他大学や海外の研究者を招聘して講義が行われます。

### 3 公認心理師受験資格の取得

- 平成31年度から、心理学研究を進めながら公認心理師の受験資格が得られる「公認心理師プログラム」を設置しました。

### 4 研究発表のスキルの獲得

- 自らプレゼンテーションする経験とスキルを身につけます。
- 研究発表のスキルを獲得するため、大学院生全員と専任教員が参加する「大学院研究発表会」が開催され、活発な討議が行われています。
- 学会発表には、交通費・宿泊費の支給などのサポート体制が整っており、大学院生の研究発表を全面的にバックアップします。



## 授業の特色

専門科目群には心理学的な研究を行ううえで必要な方法論や原理を学ぶ科目から、臨床・応用的な科目まで幅広く開講されています。これらの科目では、演習形式で学生が中心となって論文や英書の講読を行ったり、発表をしたりするものもあれば、より実習形式で必要なスキルを学べるものもあります。これらに加え、公認心理師科目群として9科目の講義・演習科目が開講されており、これは公認心理師プログラム履修者でなくとも履修が可能です。



### Message From\_

博士後期課程

飯田 諒介さん

実務にも積極的に関わる  
研究者になりたい



私は犯罪捜査における目撃証言の信頼性評価について研究しています。実務にも積極的に関わっている先生の指導の下、研究だけでなく、研究助手として実際に裁判の争点となっている目撃証言の実証実験に携わることで、研究が現実場面にもどのように役立つのか深く考えるようになっています。近年、法心理学の分野では実務に関わる研究者が少なくなっていますので、アカデミックな立場に身を置いて研究を行いながら、実務にも積極的に関わる研究者になりたいと思っています。

## 教育を支える多様な 講義・研究発表

通常の授業以外にも学外の大学教員等を招聘し、最先端の心理学研究についての講義を受ける大学院特別講義や修士論文や博士論文の作成に向けて自分の研究テーマについて学会発表形式で研究発表を行う研究発表会、そして自らの研究成果を日本大学心理学会が発行する「日本大学心理学研究」へ投稿し、論文として内外に発表していくなど、専門性の高い心理学に触れ、自ら関わる機会が設けられています。



## Voice

いつか自分の研究が  
力添えになればと思います

留学生



From

博士前期課程

杜 文静さん

私は経済学部出身で、心理学は教養科目として学び始めました。四年生になり就職か進学かを考えたとき、自分の人生を後悔したくなく、一度全力で心理学を学びたいと思い進学しました。学部と違い、大学院の授業は少人数で行われ、論文を読んで発表する授業が多く、かなり苦労しましたが、日本語力を上げるチャンスでもあると感じています。現在は自己反芻と不安の関連に対する自尊感情の効果を研究しています。今の中国ではまだ心理学が発展途中で、人のメンタルヘルスへの関心は高くありません。自分の研究がいつか誰かの力添えになればと思います。

実習を通じて、学ぶ内容を深く理解し、  
身につけていく

公認心理師  
希望者



From

博士前期課程

鎌田 哲司さん

私は認知の歪みがコミュニケーションスタイルに与える影響を研究しており、幅広い視点から指導を受けたいと思い、基礎的な分野から臨床的な分野までさまざまな専門をもつ先生のいる心理学コースに進学しました。また、困難を抱えている方を少しでも支援できたらという思いもあり、公認心理師の資格取得を目指しています。公認心理師プログラムの実習では、医療、福祉、教育とさまざまな臨床現場で働いておられる先生方に直接指導を受けることができ、教科書や授業で学ぶ内容を具体的なものとして深く理解し、身につけていくという経験を得ています。

こころの支援ができる研究者を目指す

# 心理科学コース 公認心理師プログラム

## 公認心理師とは

心理学関連のはじめての国家資格です。国民の心の健康の保持増進に寄与するために、保健医療、福祉、教育その他の分野において、専門的知識及び技術をもって以下のような仕事を担います。

- 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供



## 公認心理師プログラム

公認心理師になるためには、大学等で所定の科目を修得し、卒業することが必要です。そのうえで大学院で下表に示す所定の科目を修得し、課程を修了することで資格試験の受験資格を得ることができます。そして公認心理師試験を受験して、合格することで資格を取得することができます。

心理学専攻心理科学コースでは、平成31年度より公認心理師プログラム\*を設置し、公認心理師受験資格に必要な科目を開講します。大学等で必要な科目を修めたいうえで、心理学専攻心理科学コース公認心理師プログラムの科目を修めると公認心理師試験の受験資格が得られます。

\*公認心理師プログラム履修者は、学費等納入金に加え学外実習費が別途必要になります。

### 本プログラムが目指す人材像

心理学専攻心理科学コース公認心理師プログラムでは、次のような人材の育成を目指します。

- 科学的心理学の知識や技術を基礎とした心理学的支援ができる
- 公認心理師としての実践に必要なアセスメントや支援法、コミュニケーション法等の実践的な力を身につける
- 心理学的な研究を自ら進めることができ、それを基盤にして医学等の隣接領域と連携した研究ができる

### 心理学専攻博士前期課程 心理科学コース 開講科目

博士前期課程開講科目	研究法	認知・生理・健康	社会・環境	発達・教育	臨床・応用
<b>専門科目群</b>	心理学研究法特論	生理心理学特論	社会心理学特論	発達心理学特論	家族心理学特論
	心理統計法研究	認知心理学特論	環境心理学特論	教育心理学特論	人間関係特論
	臨床心理学研究法特論	健康心理学特論	臨床社会心理学特論	老年心理学特論	精神医学特論2
			人格心理学特論	障害者・障害児心理学特論	
<b>公認心理師科目群</b>	保健医療分野に関する理論と支援の展開	福祉分野に関する理論と支援の展開	心の健康教育に関する理論と実践	心理実践実習C	
講義・演習科目	教育分野に関する理論と支援の展開	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	心理的アセスメントに関する理論と実践(心理アセスメント演習)	心理実践実習指導	
実習科目 心理科学コース 公認心理師プログラム 履修者のみ受講可能	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	心理支援に関する理論と実践(心理支援演習)		
<b>博士後期課程 研究指導科目</b>		実験心理学研究	社会心理学研究	応用心理学研究	

学生生活をサポートする

## 手厚い奨学金と補助制度

日本大学大学院では学生生活をサポートする制度が充実しています。特に学会への出張費の支給や論文奨励金制度は研究活動へのモチベーションにも繋がります。

学会出張費  
支給

TA・GSA  
制度

リサーチ  
アシスタント  
制度

学術論文  
奨励助成金

[その他]

ロバート・ケネディ奨学金  
(給付型)

文理学部博士後期課程  
奨励研究費(給付型)

日本学生支援機構  
奨学金

その他企業等  
奨学金

博士前期課程修了後の進路

## 博士後期課程への進学と多様な分野への就職

博士前期課程心理科学コースを修了し、学位論文を提出すると修士(心理学)の学位が授与されます。その後、心理科学コースの修了生にはさまざまな進路があります。

修了後も研究を続け、研究職や教育職を目指す人は大学院の博士後期課程へ進学します(入学試験に合格する必要があります)。一方で、メーカーやサービス業などの一般企業で専門的知識や技能を活かす人や心理職の公務員として活躍している人もいます。また、今後は公認心理師試験の受験資格を得た学生は国家資格を取得するとともに、それを活かした領域で就職を目指す人も増えていくでしょう。

最近では留学生の修了生も増えてきましたが、日本で就職する人も多く、さまざまな分野で活躍しています。

### [心理学専攻] 博士後期課程

博士後期課程では心理学の諸領域について研究者として自立して研究活動を行い、さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い、最終的に自身の研究を博士論文としてまとめていきます。その活動においては研究の実施だけでなく、海外・国内学会での発表や学術論文の執筆も行い、積極的に自身の研究を発信していくことも求められます。博士後期課程では、学内外から、高度に専門的な研究を推し進めたいと考える人だけでなく、公認心理師資格を取得したうえで、より科学的な視点で現実の問題に取り組みたいと考える人も歓迎します。

#### ■博士後期課程在学生の研究テーマの例

- ・ 詳細な情報を含む証言が確信度の一貫性に与える影響
- ・ 役割交換により生じる心理的变化の検討
- ・ 他者からの視点取得および共感を知覚することに関する心理学的検討
- ・ 高齢者ケアにおけるワークエンゲージメント
- ・ 能動的注意における生理心理学的研究
- ・ 社会的マイノリティとの仮想接触の効果に関する研究

## Voice

### 多様な「人」と「学び」に出会い、 基礎と実践をバランスよく学べます

卒業論文執筆時、先輩に「抑うつに興味があるなら」とある本を紹介してもらいました。この本の内容が当時の私にピタッとハマり、この本を書いた著者の一人である坂本真土先生の元で研究してみたいと思い日本大学大学院へ進学しました。それ以来、2000年頃から症例報告が増加している新しいタイプの抑うつ症候群について多角的に研究し、最近ではそのような抑うつ重症度を測定する尺度開発をしたりしています。

心理科学コースの特徴は、異なる専門性をもつ先生や大学院生と交流を多くもてることです。内部進学者に加え、他大や社会人、そして海外から、様々なバックグラウンドをもった大学院生が集まり、切磋琢磨しながら研究に励んでいます。基礎的な研究をしたいと考える人にとって、実践的な問題や視点から得るものは多いです。そして実践家を目指す人も最新の研究論文を読み、自ら研究を行える科学性も身につけられる場だと言えます。多様な「人」と「学び」に出会い、基礎と実践をバランスよく学んで欲しいと思います。



修了生

From

東北文化学園大学医療福祉学部  
保健福祉学科 講師

山川 樹先生  
(2016年 博士後期課程修了)

## 教員紹介

日本大学心理学研究室には総勢16名の教員が所属しています。このうち心理科学コースを担当する教員は9名。

ここでは教員の専門分野と研究内容について紹介します。

前 … 博士前期課程研究指導教員

後 … 博士後期課程研究指導教員

### 岡 隆 教授

前 後

#### 専門分野

社会心理学(社会的認知、社会的態度、集団間関係)

#### 研究内容

対人知覚、社会的判断、帰属過程など社会的認知の基礎過程を研究することによって、現実社会のステレオタイプや偏見や差別、集団間の葛藤などの諸問題に応用しようとしています。最近では、これら社会的認知の問題を、人間関係や集団関係を規定する言語やコミュニケーションの問題、個人の意思決定と集団内での意思決定の問題と関連づけながら検討しています。

#### 受験生へ ひとこと

みなさんと一緒に研究プロジェクトを動かしながら、現実の心理学的問題に挑戦していくことを楽しみにしています。

### 坂本 真士 教授

前 後

#### 専門分野

臨床社会心理学・抑うつ・メンタルヘルス・予防・自殺対策

#### 研究内容

私は、社会心理学に学問的基盤を置きながら、抑うつや自殺などのメンタルヘルス上の問題を、主に自己や対人的視点から理解するための研究を行っています。また、メンタルヘルスの改善を目指して、医師、心理師、保健師等の専門家と共同し、実践的な取り組みもしています。近年は、いわゆる「新型うつ」の理解と解決を目指して研究を進めています。

#### 受験生へ ひとこと

私は、社会心理学の視点をもつことでメンタルヘルスに対する理解が深まると考えています。この考えに賛同していただける方の受験を歓迎いたします。

### 畦地 良平 准教授

前

#### 専門分野

臨床心理学・老年臨床心理学

#### 研究内容

疾病や障害を持った方の集団心理支援方法の開発や心理学的リハビリテーションの効果検証に関する研究や高齢者等にケアを提供する方の心理支援に関する研究をしています。とくに、ポジティブ指標の向上要因に興味があります。

#### 受験生へ ひとこと

臨床実践を行えば研究のスキルが、臨床研究を行えば実践の経験がモノを言います。どっちもやりたいという方、大歓迎です。

### 齋藤 慶典 准教授

前

#### 専門分野

生理心理学・精神生理学

#### 研究内容

達成動機づけとストレスの関連について調べています。ストレスを感じると身体にも変化が起こるので、心理的な活動の変化とともに、脳活動、心臓血管活動などの生理学的変化も記録し、両者の関係を明らかにしたいと考えています。

#### 受験生へ ひとこと

人間に関する幅広い知識と経験があると心理学はより面白くなります。興味があることはなんでもやってみましょう。

### 内藤 佳津雄 教授(心理科学コース専攻主任)

前 後

#### 専門分野

老年心理学・老年学・認知心理学

#### 研究内容

認知心理学の領域では、言語によるコミュニケーションや意思決定が専門です。老年心理学の領域では、高齢者の認知機能の変化と他の心理機能(QOL、感情、動機づけ、社会的認知等)との関係を中心に研究をしています。また、認知症の人やその支援者(家族、介護職等)への心理的支援やケアの方法およびその教育方法(OJT・スーパービジョン等)についての応用・実践的研究も行っています。

#### 受験生へ ひとこと

高齢者支援の分野で心理学は確実に必要とされています。研究・実践のどちらの指向の方も歓迎します。



## 羽生 和紀 教授

前後

### 専門分野

環境心理学・環境犯罪学

### 研究内容

環境心理学と環境犯罪学を専門に研究しています。環境心理学では特に、1)都市や住居環境の認知や評価、2)インテリアの心理的効果、3)環境の行動や意思決定に関する研究を行ってきました。環境犯罪学は、環境に関係する犯罪心理学です。特に、地理的プロファイリングと防犯環境に関して研究を行っています。

### 受験生へ ひとこと

社会の環境に関する関心が高まっています。また、地理的プロファイリングのような環境に基づく科学的捜査に対する期待も高いものがあります。興味や熱意を持つ受験生を歓迎します。

## 望月 正哉 教授

前後

### 専門分野

認知心理学・言語心理学・教育心理学

### 研究内容

言語処理と感覚運動処理との関係について検討しています。具体的に、文化や個人の身体、経験が言語理解をどのように変化させるのかを実験的に検討したりしています。また、対人コミュニケーションについても研究しています。特に友人同士の「いじり」について検討しており、いじられキャラは適応的なのか、いじりをいじめにしないためにはどうすればよいのかといった視点で研究をしています。

### 受験生へ ひとこと

人やその心理のどのような側面に面白さを感じるのか意識すると、学ぶべき内容や研究の方向性が見えてくると思います。

## 松浦 隆信 教授

前後

### 専門分野

臨床心理学・臨床社会心理学・森田療法

### 研究内容

私は不安を主な支援対象とする森田療法を実践しています。その経験を踏まえ、不安の発生および軽減に関する心理的メカニズムについて、社会心理学等の基礎心理学理論を用いてそのプロセスを説明するための実証研究を進めています。また、障害を抱えたクライアントの就労支援や、発達障害を抱えたクライアント本人および関係者への支援のあり方についても事例研究を行っています。

### 受験生へ ひとこと

臨床実践のスキルと共に、研究によって心理支援の有用性を言葉で発信できる意義をお伝えできればと思います。

## 依田 麻子 特任教授

### 専門分野

生理心理学・健康心理学

### 研究内容

「こころからだの関係を知る」ということが、私の研究における中心的なキーワードです。特に、ストレスとリラクゼーションについて、「からだ」からのアプローチを中心に研究しています。また、「自分のことを本当に自分で分かっているのか」という素朴な疑問をもち、「気づき」についてもこだわってきました。

### 受験生へ ひとこと

大学院で学ぶということは、自分自身の世界を広げることにつながっていると思います。自ら学んで、広い世界へ羽ばたいてください。

■ 2026年度 文学研究科心理学専攻 博士前期・後期課程 初年度納入金・前期分

入学金	授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費	計
(学外)200,000	290,000	30,000	75,000	15,000	10,000	420,000 (学外)620,000

(単位:円)

■ 2026年度 文学研究科心理学専攻 博士前期・後期課程 初年度納入金・後期分

授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費	計	計
290,000	30,000	75,000	15,000	—	410,000	830,000 (学外)1,030,000

(単位:円)

■ 臨床心理学コース(全在籍者)・心理科学コース(公認心理師プログラム履修者)学外実習費

1年次	2年次
60,000	60,000

(単位:円)

■ 奨学金制度

名称	対象	金額	給付・貸与	担当	
古田奨学金	学業成績が優秀で人物が優れている者	20万	給付	学生課	1人
ロバート・F・ケネディ奨学金	学業成績が優秀で人物が優れている者	20万	給付		1人
日本大学創立100周年記念 外国人留学生奨学金	外国人留学生で学業成績が 優秀で人物が優れている者	授業料相当額の 半額	給付		人数は学生課 問い合わせ
文理学部奨学金(第1種)	学業成績が優秀で人物が優れている者	40万	給付		4人(大学院生全体)
文理学部奨学金(第2種)	外国人留学生で学業成績が優秀で人物が優れている者	40万	給付		1人(外国人留学生)
大学院生特別奨学金	古田奨学生、ロバート・F・ケネディ奨学生	授業相当額	給付		2人
後援会奨学金	経済的理由により学費等の支弁が困難な者	24万	給付		
校友会奨学金	経済的理由により学費等の支弁が困難な者	24万	給付		

■ 研究奨励費制度

名称	金額等	担当
大学院奨励研究費(後期課程のみ)	上限15万円	教務課
大学院学術論文奨励助成金	応募要領において定める	
大学院生学会(海外)発表補助金	年度内1回(15万円を上限とする)	
大学院生学会(国内)参加補助金	年度内2回(1回につき4万円を上限とする)	

## 日本大学大学院 文学研究科心理学専攻 心理科学コース

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40  
TEL.03-5317-9720 FAX.03-5317-9427

<https://dept.chs.nihon-u.ac.jp/psychology/>

院入試過去問題閲覧を希望される方は、文理学部入学センター(03-5317-9670)へお電話にてご予約の上、閲覧が可能です。  
なお、過去問題の送付・配布・撮影・貸出等はできませんので、ご了承ください。